

第4回環境基本計画 市民ワークショップの記録

1. ワークショップの目的

第4回市民ワークショップでは、第1回から第3回市民ワークショップでいただいたご意見をもとに、新しい施策体系の4つの基本戦略の案について共有しました。また、「2030年の国分寺の環境のためにできること・すべきこと(基本方針・施策)」について掘り下げを行うワークショップを開催しました。

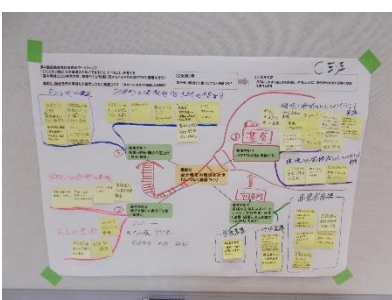
2. ワークショップの概要

日 時:令和6年6月2日(日)10:00~12:30

場 所:リオンホール B(cocobunji WEST5階)

参加者:20名

事務局:国分寺市まちづくり部まちづくり計画課



3. プログラム

(1)開会のあいさつ・企画説明

(2)ワークショップ

- ・ 話題提供（過去のワークショップ結果のふりかえり、新しい施策体系の説明等）
- ・ 戦略0と戦略2についてグループワーク【ブレインストーミング（意見の整理）】
【マインドマップの作成】
- ・ 発表・意見交換

(3)閉会のあいさつ

基本方針1 生物多様性の保全 と自然共生

施策：
樹林地、樹木、(国分寺)崖線、湧水、地下水、用水の保全

施策：
自然とくらしの共生

農地を境界とした自然とくらしの共生

施策：
居住×緑のバランスの良さをアピール

市外から自然を求める人へのアピール

都心からのアクセスと自然のバランスの良さ
→ブランド化

バランスの良さを情報発信

施策：効果的な情報発信

デベロッパーは不動産の価値が上がる情報を求めているので市の環境を積極的に情報発信

SNSを活用した観光情報を発信

市ホームページの体系的に整理された情報発信

施策：鳥獣害対策

カラスのごみあさりに対策として金網、営巣除去対策→軽減

戦略2 生物多様性の保全と 自然共生の実現

施策：
主要道路沿いに公園を増やす

施策：
虫も含めた花・緑の保全

立川市(昭和記念公園)の様な花と緑のスポットが必要

花と虫の共生
・花が少ない
・花、緑を守る

基本方針2 都市のエコロジカル ネットワークの形成

施策：
緑と水のネットワーク

緑地(点)をつなぐ川(線)の整備

野川の護岸の三面張を外す、整備
→観光の効果も

街路樹の整備(特に市域の南側)

砂川用水ー姿見の池ーお鷹の道ー野川を結ぶ緑と水のネットワーク

自然木の保護も重要

施策：
湧水の保全と利活用

小金井市のように湧水を使ったカフェなど湧水源を有効利用して湧水を守る協働意識を高める

基本方針3 生物多様性の理解 と浸透

施策：
国分寺学に生物多様性プログラムを入れる

施策：
学生(東経大など)に学校の周辺などみどりのスポット(新次郎池や殿ヶ谷戸庭園など)をアピール

施策：大学との協働

自然を対象にしたサークル活動を東経大だけでなく、他大学も巻き込む

大学も協力、先生や生徒にも協力してもらう

施策：
市民が必要とする自然の保全のために市民が協力する仕組みを定着する

施策：
中学校・高校との連携

中学・高校との連携をつくる

学生が地域のまつりのポスターを作る取組の輪を広げる

**基本方針1
生物多様性の保全
と自然共生**

施策：活用

- 落葉の資源の有効活用
(野焼きして土に返して
土壌を豊かにする)
- 太い枝を短く切りつめ、
多くの枝を切り落とす、
街路樹の剪定方法を見直す

施策：みどりの保全

- 個人の所有地の
樹木の保存
- 農業が継続できる
ように地産地
消のシステムをつくる
- 住宅の緑地を増
やすための補助
制度
- 外来種の管理
(防除などによっ
て)

施策：生きものとの共生

- 雑木林や水路
沿いの柵の撤去
↓
自然との共生
- 自宅の雑草を駆
除する
- 緑道や商店街な
どに緑を整備す
る
- ごみのポイ捨て
を対策し、まちの
美化を行う
- 今ある公園・
緑地の生きも
のをまず多様
化する
- 道路の排水
口につまる落
葉の掃除によ
り雨水処理
- 自然とふれあ
うカフェなど、
緑地＝人が集
う場所を目指
す
- 地域によって水が溜ま
りやすいところについ
ては透水性舗装などで雨
上がりの水たまりを無く
す

**戦略2
生物多様性の保全と
自然共生の実現**

**基本方針2
都市のエコロジカル
ネットワークの形成**

施策：緑化・緑と緑をつなぐ

- 遊歩道をつくる
- 公園を増やす
- 放置された家の
解体
- 道路に緑を植え、
緑のアーチをつく
る
- 駅前の緑化
- 宅地・私有地・
企業の土地など
全ての土地の緑
地割合を法律で定める
- 交通インフラの
整備
- 公園と公園をつ
なぐ道

**基本方針3
生物多様性の理解
と浸透**

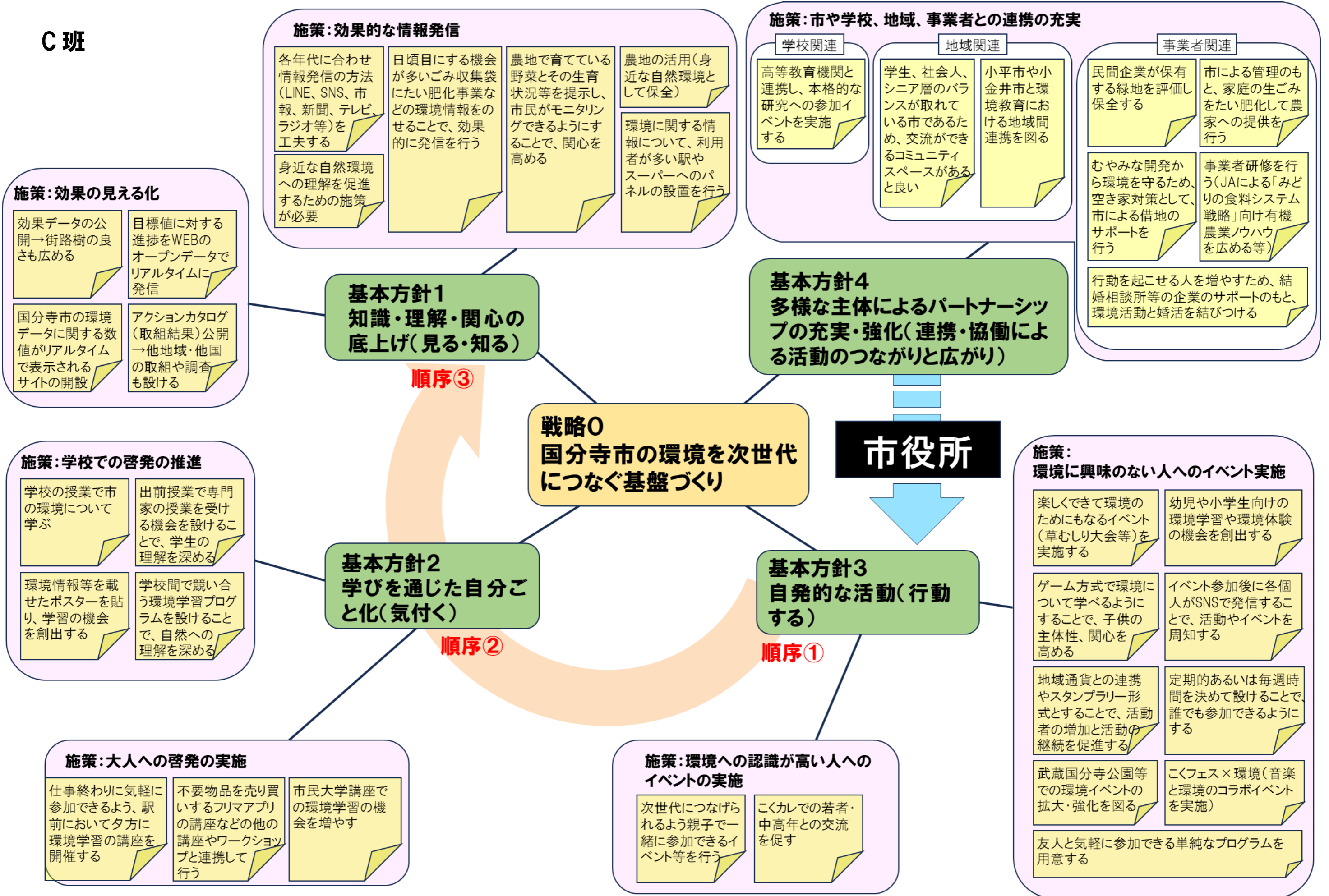
施策：生きものとの触れ合いの創出

- 虫を捕まえる機
会を設ける
- 草木の名前を知
る
→ 樹名板の設
置など
- いつでも自由
に立ち入れて、自
然と触れる場所
をつくる
- いっどこにどん
な生き物があるの
かを伝える(減っ
ている、増えてい
る生きもの
など)
- ベンチを増やす
など、自然と過
しやすい公園の
整備
- 小・中学校で身
近な生物に触れ
る体験

施策：広告・宣伝

- 生物多様性の大切さを学ぶ、伝
える仕組みを作る
- 興味を惹くオブ
ジェを設置する
- 湧水の街をア
ピールできるイベ
ントやアイテムの
整備
- 生物の解説看板
を公園にたてる
- 防災無線などの
町内放送でアナ
ウンスする
- のぼり広告、有名人からのアナウ
ンス、スマホ広告など、プッシュ型
広告を進めていく

C 班



戦略0 国分寺市の環境を次世代 につなぐ基盤づくり

基本方針1 知識・理解・関心の 底上げ(見る・知る)

基本方針4 多様な主体によるパートナーシ ップの充実・強化(連携・協働によ る活動のつながりと広がり)

施策: 環境を見る・知る・ふれあうきっかけづくり

- 公園や緑地などの禁止事項が多すぎる(ボール遊びなど)規制緩和を
- 環境まつりなどを復活させ、環境を見る・知る機会をつくる

施策: 大学と連携した環境づくり

- 公民館と東経大学が連携して環境づくりの活動を展開

施策: 市民や事業者等と連携した環境づくり

- 個人個人と企業などと連携してごみを減らす
- ごみの分別でNG例を紹介する
- ごみ処分の現場を見学
- プラごみNGデーなどを設定し、各企業やマンションそれぞれで環境保全に取り組む

施策: 農家と連携した環境づくり

- 農家との連携(生き物採集など)

基本方針3 自発的な活動(行 動する)

施策: 地域人材の育成

- 子どもから伝える・教える(伝承・教育)
- 親から子どもへつなげていく環境・国分寺の魅力の話
- SNSの“#(ハッシュタグ)”機能を活用して、情報を集約して発信する
- 行政情報・告知・ボランティア・自治会など様々なコンテンツをオンラインで発信

施策: 様々な場や方法を活用した活動

- 地域のまつりで排出されるごみ・資源物の分別からの気づき
- 国分寺の自然と環境の図鑑作成のアプリゲームなど、ゲーム性を持たせて楽しみながら学ぶ
- 環境ひろばニュースを活用して環境を発信
- 見つけた情報を担当部署に伝える(写真付き)
- フォトコンテストで国分寺の好きな自然・環境を発信し、保全活動につなげる

基本方針2 学びを通じた自分ご と化(気付く)

施策: 体感・体験の場の創出

- 小学校から体感・体験できる場を設ける
- 学校の授業で自然の場で遊ぶ機会を設ける
- 大人などでも学べる公民館での環境学習の推進、活動の発信をアピール

施策: まず知ってもらうための工夫

- 知名度・発信力がある、旬の人(お笑い芸人ガクテンソク)とコラボする
- 観光大使を使う
- 周辺のまちと比べて、国分寺市の良さ・特徴をアピール・発信
- 市HPとSNSを連携、ゆるいコンテンツの作成・配信

施策: 効果的な情報発信

- SNS、動画配信サービスでの広告発信
- 情報入手手段の多様化→世代に合わせた発信方法
- スマホから参加できる活動
- ゆる〜く気軽に学べる、楽しく学べるコンテンツを用意

施策: 気軽に参加できる仕組みづくり

- いつでも欲しい情報を取れる環境づくり(SNS、動画配信など)
- イベントや会合にどこからでも参加できる環境づくり
- 地域活動に参加しやすい環境・場づくり
- ライフスタイルに合わせた参加の仕組みと場づくり
- マンション居住者と自治会との交流
- オンライン参加